

令和 6 年度第 1 回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会 会議録

1 日時 令和 6 年 7 月 29 日（月）午前 10 時～午前 11 時 50 分

2 場所 名古屋市役所 東庁舎 1 階 災害対策本部室

3 出席者 審議会委員 土屋 武志 会長
 南部 初世 委員
 小松 尚 委員
 山本 秀雄 委員
 中田 俊夫 委員
 尾関 利昌 委員
 田添 千裕 委員
 梶野 渚 委員
 瀬瀬 みどり 委員
 加藤 雅士 委員
 事務局 教育環境整備課長はじめ 10 名

4 傍聴者数 4 名

5 議題

- ・浮野小学校と平田小学校の統合に関する個別プランについて（諮問）（公開）
- ・小規模校の取組状況について（公開）

6 議事

No. 1

発言者	発 言
事務局	お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会を開催いたします。私は進行役を務めさせていただきます教育委員会教育環境整備課長の鈴木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 本日は、全委員の 11 名中 10 名の方にご出席をいただいております。名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会条例第 7 条第 2 項により、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。 開会にあたり 3 点ご案内を申し上げます。 1 点目は、ご発言される際のお願いについてです。机上にマイクがございますが、マイクは常時オフ・赤ランプにさせていただき、発言される際に、マイクのボタンを押し、オン・緑のランプにさせていただいてご発言ください。 また、ご発言が終わられたらボタンを押してマイクをオフに戻してい

発言者	発 言
	ただきますようお願いいたします。2 点目は災害が発生した時の対応についてです。万一災害が起きた場合の対応ですが、入室された出入口から職員の指示に従って避難していただきますようお願いいたします。 3 点目は会議の公開についてでございます。本審議会は、名古屋市情報公開条例第 36 条の規定により、公開が原則となっております。そのため、非公開情報を審議する場合などを除き、公開とさせていただくことをご了承いただきたく存じます。 本日の傍聴者は 4 名、記者が 1 名でございます。傍聴される方に申し上げます。名古屋市子どもいきいき学校づくり審議会の会議の傍聴要項の規定により、傍聴者は静粛を旨として、配付した資料「傍聴者の方に」に記載のある、会議場における言論に対して拍手その他の手法により公然と可否を表明しないことや、会場内では、写真、ビデオ等の撮影、録音等は行わないこと等を遵守していただき、円滑な議事運営にご協力ください。 それでは開会いたします。初めに、教育環境整備課子どもいきいき学校づくり担当課長よりごあいさつを申し上げます。
担当課長	(あいさつ)
事務局	議事に入ります前に、少しお時間を頂戴したく存じます。本市では様々な機会をとらえ、市の人権施策の取り組みを紹介させていただき、人権教育の推進に努めております。つきましては、人権教育課課長補佐より本市の人権施策についてご説明させていただきます。
人権教育課	(人権施策について説明)
事務局	ありがとうございました。課長補佐は別の公務がございますので、ここで退席させていただきます。 それでは、本日の審議会の資料の確認をさせていただきます。 (資料確認) 続きまして出席者紹介に参ります。6 月 3 日に 4 名の委員を改選させていただいており、また、今年度初めての審議会でございますので、皆様に自己紹介をお願いいたしたく存じます。
各委員	(自己紹介)
事務局	続きまして、本市の職員をご紹介します。

発言者	発 言
	(職員紹介) 本審議会の会長につきましては、令和 6 年 2 月 28 日に開催いたしました令和 5 年度第 1 回の本審議会におきまして、条例第 6 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選により、土屋委員が選任されております。また、会長職務代理者につきましては、条例第 6 条第 3 項の規定により、南部委員が指名されております。今年度も引き続きお二人方をお願いしたく存じます。宜しく願いいたします。 これより先は、土屋会長に議事進行をお願いいたしたく存じます。 会長 それではこれより先は、私の方で議事を進めさせていただきます。本日は請願がありませんので、このまま審議に入らせていただきます。 事務局 それでは、次第 1 「浮野小学校と平田小学校の統合に関する個別プランについて（諮問）」について、事務局から説明をお願いいたします。 会長 (説明) これまでも、小学校の統合に関する審議を進めてまいりましたが、新しい学校づくり、施設整備、統合に向けた交流連携、通学安全といった観点から委員の皆様からご意見をいただいていたかと思えます。今回も、そういった観点からご意見をいただければと思います。 それでは、委員の皆様からご意見等があれば、よろしく願いいたします。 学校の統合でありますので、学校の関係の先生はいかがでしょう。 委員 今回浮野小学校を一時的に使って平田小学校の改修しつつ、浮野小学校で学習すると案として出ていますが、その際に、現時点で浮野小学校が小規模ということで、全学年で 6 学級ということになっているんですけど、平田小学校の子が浮野小学校に来た時に、空き教室に十分のキャパがあるのかとか、特別教室が十分に使えるのかとか、いわゆる子ども達の、学びの保障という所については十分にできるのかどうか、教えていただきたいと思えます。 事務局 工事期間中、浮野小学校で学校生活を送っていただくことにつきまして、空き教室は結構あるのですが、若干不足する分があります。その分につきましては仮設校舎を建てさせていただきまして、対応していきたいと思えます。なお 2 年間、設計期間中に仮設校舎を建てさせていただき、平田の子ども達が移動する時には、仮設校舎がある状態で、スタートしていきたいと考えております。

発言者	発 言
委員	仮設校舎を建てるということは、今の運動場を縮小して仮設を建てる とか、そういうことを考えているということで宜しかったでしょうか。
事務局	場所につきましては、運動場を一部使わせていただくことになります が、仮設校舎の大きさといましては、必要最小限にいたしますので、 なるべく運動場が広くとれる様な形で考えていきたいと思います。
会長	ありがとうございました。ほか、いかがでしょうか。
委員	教育活動を進めていく立場から考えますと、実際に今、教育委員会も 学びのコンパスっていうそれぞれの学校が特色を出すように、という働 きがありまして、本当にそれぞれの学校が一生懸命いろんな学びを求め て特色を出している最中なんですね。ですから、それが最終的に一つに なった時に、また新たな学びを作成していくのか、それとも統合を見据 えて、今からある程度同じような路線で進んでいくのか、もちろん今の 浮野小と平田小も考えてみえると思うんですけど、この辺りがどうい う風になっているのか、教えていただきたいと思います。
事務局	学びのコンパスをどうやってやっていくかっていう質問だと思うん ですけど、今ちょうど統合が決定して進んでいる、内山小学校と大和小 学校で新しい学校作っていく、統合前々年度になるんですけども、今 ここの校長先生方と話をしているのは、開校の時に、あんまり急に変わ ってもいけないということで、ある程度新しい学校をイメージしなが ら、その前年度、前々年度で揃えていくような、子どもの実態もあるん ですけど、どういった形で学びのコンパスをやっていったらいいか揃え ていこうという話になっているので、浮野小学校と平田小学校の統合が 決定すれば、その後、どんな学び方をしていくか、どんなやり方をして いくかということは、ある程度協議しながら、校長先生方と相談しなが ら、固めていけたらいいんじゃないかというふうに考えています。
会長	この会議が、名古屋市の子どもいきいき学校づくりのための会議とな っておりますので、ここで統合が方向性として固まってから、本格的に 名古屋市として学校づくりという動きになっていく。これまでも統合が 認められた段階で、各学校がこれからどのような形で育てるか正式に動 きが始めると。今のお話もそういうことでよろしいでしょうか。
事務局	付け足しになりますが、統合が決定すれば、新しい学校づくりに向け て、教育目標だとか、校訓だとか、それに加えてどんな学びをしていく かといくことも協議をしていくことになりますので、いろいろなルール 決めもあるんですけど、一番大元になる所も、両学校の校長先生とと

発言者	発 言
会長	もに考えていきたいと考えています。 学びのコンパスを意識して、ということで委員からの意見でしたので引き続き宜しくお願いいたします。PTAの方はどうですか。
委員	私自身も笹島小中学校の子どもを通わせておりまして、小規模校の子ども達がすごく気になるんですけど、やはり今回統合すると、浮野小学校の子ども達はずっと1学級でクラス替えを経験したこともない子ども達が、大きな所に飛び込んでいくことになりますので、浮野小学校の子ども達へのケアだけはしっかりして欲しい、というお願いとともに、統合前に浮野小学校と平田小学校の交流するような具体的な活動内容を考えていることがありましたら、教えていただきたいなと思います。
事務局	具体的な活動といたしましては、例えば野外教育は、一緒に行って現地で交流するとか、それから学校はお隣さん同士なので、遠足とか行事的なところからまず、児童が馴染んでいけるような活動を、統合決定後速やかに、学校と調整しながら進めていきたいと考えております。
委員	PTAの立場、保護者の立場で発言させていただきます。 まず児童の安心や安全を確保することがとても重要になってくると思います。もちろん児童の交流も必要ですが、やはり通学路の問題は如実に出てくる問題だと思います。平田小学校の児童のかたが一時的に浮野小学校へ通うという期間もございますので、平田小の方が児童数が多い中で、浮野小学校へ通学する期間、大幅に普段の児童の通り・人数が変わってくるかと思いますので、事前の通学路の練習だったりとか、PTAも含め、地域の方も含め、保護者の見守り活動だったり、具体的に丁寧に進めていただけるとよろしいかと思います。 また、2つ目としましては、地図を合わせて見ますと、平田小学校の改築ということなので、校舎の取り壊しが行われていきます。近隣に公園もありますので、児童が遊ぶ場所のそばということになりますので、朝や夕方、気を付けて工事車両を出入りしていただきたいなと思うのと、運動場が手狭になるということで、子ども達にとって運動会などの行事にある程度制限が出てくることもございますので、自分の子どもも小学校の時に仮校舎を建てて改修工事をしたことがありますので、運動場が使えなくて、隣の中学校を使ったということもございますので、子ども達が校舎が建つ中で学ぶことも経験だと思いますが、運動会や運動場を使った行事等も充実したものができるように配慮いただければなと考えております。
会長	工事中の安全も含めた貴重な意見だと思います。何か補足はあります

発言者	発 言
事務局	か、事務局の方から。 貴重なご意見ありがとうございます。 まず、工事車両の安全につきましては、実際の工事を行う業者としっかりと安全対策は十分図っていくとともに、工事車両が通る時間帯の制限といったことも、検討させていただきたいというふうに考えております。 続きまして、運動場の利用制限がかかることにご心配いただいております。行事につきまして、特に運動会につきましては、現状のものをしっかり私達も見学させていただきながら、学校と話し合いながら、子ども達が年に1回とても楽しみにしている行事でございますので、期待に応えられるような形で良い方向性を出したいと、学校と相談しながら進めていきたいと思っております。
委員	通学路に関して、意見させていただきます。通学路の長さについて、不安を感じていらっしゃる保護者の方はすごく沢山いらっしゃると思います。 今小学校が2キロ、中学校が3キロと伺っておりますが、暑いので、今年も6月入ってからものすごく暑い日があって、その中で、子ども達だけで歩かせていくということにすごく不安を感じている方が沢山いると感じています。今回の統合の中で、500m増える子達がいる事を見た時に、保護者の方達は凄く不安を感じられると思いますし、今の幼稚園・保育園の中で、歩く機会がすごく減っています。35度を超えた時にはもう外に出ないように、水遊びもしないようにと市から言われていると、体力がしっかりある子が少ないのではないかと感じています。 1年生になって歩きますとなった時に、交通安全的には大丈夫かもしれないけど、暑い中歩くのが大丈夫なのかという視点がまだあまり出てきていないのではないかと感じています。すごく必要なことではあるとは思いますが、3年間工事で500m長くなる時に、子ども達の安全はきちんと保障されるのかなってことはすごく不安に感じます。ここ数年で急に温度が上がっているなど感じていますので、そこに施策が追いつかないことのないように、ぜひその視点からの安全面も考慮いただければと思いますし、そこを踏まえてでも、老朽化がどうしても仕方ない工事なんだということを、丁寧に保護者の方に説明していただければなと感じております。
会長	この学校に限ったことではないかもしれませんが、委員、何かありますか。熱中症、暑さ対策について、心配な声も出てくるかと思えます。他の学校にも関係しますよね。

発言者	発 言
委員	うちは学区がすごく狭い学校ですけれども、かつて勤めていた学校は学区がものすごく広い所もありました。確かに、ここ数年の暑さというのは半端でないと思うんですが、今、学校は、日傘でも何でも基本的にはOKという学校がほとんどになっていますし、首元につける物とかありますよね、そういう物を付けて、日傘を差して、ばたばたさせながら登校してくる子ども達の姿を見ます。 学区が広い時に感じたのは、毎日毎日の通学によって、大人以上に子どもは体力がすごく付いてくるんです。ですから、どこの学校でも1年生の出だしはきついかもしれませんが、暑さ対策だけしっかりしていただいて。日中ではないんでね、朝と帰りですから、ある程度はやっていけるのではないかなというふうには思います。もちろん、お子さんの体力にもよりますけれど、学校としては、熱中症対策はほぼフリーの状態ですとスタートできると思っております。
委員	朝は、通学は分団だし、気温もそこまで、という感覚ではあるんですが、帰り道だと学年ごとに人数がバラバラだったり、5・6年生は確かにしっかり歩けるとは思いますが、1年生は時間も早くて、しかも2時とか1時とか一番暑い時間と思うと、やっぱり不安を感じる方は沢山みえるのかなとは思っています。少しずつ体力も付いていくとは思いますが、1年生も初めから歩くんだっていうところも、視点に入れていただけたらと思っております。
会長	これはこの統合に限らない話ではありますが、事務局からも、教育委員会全体の話になると思いますので、お答えいただけるならお願いします。
事務局	距離が延びて低学年の子の暑い時期の登下校が心配だというようなご意見だったかと思います。この4月に高坂小学校としまだ小学校、天白区の方で開校した学校の取り組みとしてご紹介させていただこうと思います。まず、どこの学校でもやっているかと思うんですが、下校時がやはり暑いということで、下校前に水道の水とか水筒に補給する指導を徹底することに加えて、サポートするスタッフが増員されていますので、暑い時期に限っては、低学年の子の下校時に子ども達に付いて行って、分団の集合場所まで付いていくとか、そういった人のサポート的な部分でフォローしていくといった取り組みをされているので、新しい学校ができた時には、そういった取り組みも考えながら進めていけるといいと思っていますところです。
会長	新しい学校づくりの一環として、そういうことも踏まえて動いていくということでご理解いただければと思います。

発言者	発 言
会長	力を付けさせるということであれば。 事務局に確認ですけれども、新しい学校に移行する過程で、通学路の見直しとか、安全の対策っていうのは、逆に、より重視してきちんとやっていくっていう理解でよろしいでしょうか。途中の安全、ちょっと危険な箇所とかが、新しく見つかった時の対策を含めて進めて行く前提で、今我々は考えていると思ってよろしいでしょうか。
事務局	通学路につきましては、先ほど説明の中で触れさせていただきました。統合が決定してから開校までの2年間で、当然浮野小へ行く新しい通学路を作らないといけませんので、そこに関しましては、我々教育委員会、学校、PTAの方、地域の代表の方も含めて、新しい通学路について、保護者の方、地域の方から聞き、実際に私達も現場へ行って見るといった形で、よりよい通学路を見つけていきたい。その際、安全に不安な所、例えばガードレールをつけた方がいいかなという所がありましたら、警察、土木にしっかり要望させていただいて、対応ができるように意見を言わせていただきたい。実際にこれまでの学校もそういったことをしながら、学校運営を進めておりますので、そういった形で進めていきたいと考えております。
会長	ありがとうございました。
委員	今委員が仰られたことで、はたと気づいたのですけれど、3ページの、統合した場合の学級数・児童数の見込みの数を見ると、6年度は児童数700人ですけれど、6年後は551人になります。551人は、実は今の平田小の児童数とだいたい同じです。違う言い方をすると6年で2割減ります。今までこの審議会で議論・検討した統合校の中で減り方がかなり早いんじゃないかなと思います。つまり、かなり早い段階で、次のことを考えなきゃいけないのではないかな、と数字だけ見ると思います。これは気づいたことでしか申し上げられませんが、その点は留意しておく必要があるかと思いました。 建築の立場からいくつかコメントさせていただこうと思います。5ページに施設整備として体育館を含めて、平田小学校の校舎を全面的に取り壊して新築することになっていますが、用意していただいているイメージ図を見ても、今日的な教育にこの校舎はどのように対応していくのか、アップデートしていくのか見えないですし、建築的にはほとんど同じ場所に、今ある校舎と同じ様な校舎を建てるように見えます。もちろんこれは外観だけしかないので、中でどうなっているのかわかりませんが、何をこれでイメージしたらいいのか、どういうメッセージを送ろうとされているのかわかりません。

発言者	発 言
	それから、先程から通学時の暑さの問題がありましたけども、校舎に関しても、今の学校の校舎は、最近非常に短期間で空調設備が設置されましたが、一般的に学校の校舎は断熱性能が低く、省エネもしくは脱炭素という考え方からいうと全然対応できていない建物です。イメージ図は外観しか描かれていませんが、それを見る限りでいうと、環境設備上の課題への対応が何かされているように見えない。近年の対応としては、少なくとも底を出したりとか、直射日光をカットするような対策が行われるのですが、それも見えないなど。それから、隣に街区公園があるんですけども、街区公園には割と高木が植えられているように見えますが、学校側はほとんどないです。つまり、緑化による温熱環境の改善というのは大事なテーマだと思うのですが、この新校舎ではそのような対策はしないのかということです。直接的な言い方すると、日陰になる場所が全然ないと言えます。 それから、災害の話は無視できないと思うんですけども、ここは新川が近くにあって、もう少し行くと庄内川があります。こういうような河川が万が一切れた場合の避難所として適切かどうか。この図だけだと、避難所になるこの体育館は1階にアリーナがあると思われますが、そうであれば水が漬きますので、避難所として機能しない可能性があります。そのあたりをどのようにお考えでいらっしゃるのかなど。それからもう1つ、これは教育委員会の中だけで考えているとできないんですけども、隣の街区公園を使えば、仮設校舎を作らなくても建て替えは可能です。ただしそれは、緑政土木と教育委員会で調整しないといけないので、名古屋市としてそれができるかどうかということになります。名古屋市も財政的に余裕があるわけではないので、仮設校舎の非常に不安定な、あまり良いとは言えない教育環境を作ることを避ける方法としては、そういう方法もあるのではないかなと思います。 もう1つ、最初に申し上げたように。この校舎を使う子ども達は、かなり急速に減っていくということは、空き教室がいっぱい出てくると思います、それもかなり早い段階で。空き教室をどう使うのかを、今から考えておいた方がいいと思います。例えば、先程申し上げた隣の街区公園とかコミセンがあります。おそらくコミセンは教育委員会の所管ではないと思いますが、コミセンは名古屋市の単費で建設しているので、多分建て替えはできないでしょう。財源がないという意味からです。そうすると将来、この校舎にコミセンを入れるという話が出てくるのではないかなと思います。別の自治体でもそういう議論は進んでいますし、学校施設の複合化というのは、全国的な大きな動きです。その際、子どもの安全確保の議論は必ず出ますが、逆に、学校と地域の方がいい形で一緒に子どもを育てていくとか、地域の方の張り合いとか生き甲斐を作るような機会になっていけたらと思っています。せっかく新しく校舎を全面的に建て替えるという多分100年に1回のチャンスで、次回はもし

発言者	発 言
会長 事務局	かするとないかもしれないですけども、この機会に是非、前向きに、まさに生き生きとした学校づくりのために考えていただきたいと思います。 最後に跡地の話をしようと思いますけれども、今、統合する側の学校のこと、もしくはこの敷地の校舎のことに議論が集中していますが、浮野小学校の跡地はどうするのかという課題があります。浮野学区の皆さんは大変関心があると思います。もちろん、避難所機能をどのように確保していくかということもありますが、それだけではなくて、1ヘクタールぐらいの敷地がどのように活用されるのかというのは、周りの住環境に大変影響を与えます。宅地開発が行われる可能性もあるでしょうし、商業施設が建つ可能性もあると思います。宅地が開発されると若い人が入る可能性があるので、逆に子どもの数が一時的に増えることも起きかねません。一方で商業施設が建つと、当然そこへ沢山お客さんがいらっしゃるので、交通問題や騒音問題も色々出てきます。もちろんそれ以外の選択肢もあるんですけども、この統合の議論と平行に、跡地の活用について、是非検討していただきたいと思います。 平田小学校の立地っていうのが非常に隣接して公園もあってということで、新しい学校づくりに非常にモデルになりそうだということと、浮野小学校の跡地をどう地域の人達がお考えかということも含めての、新しい学校づくりに付随する地域の環境だとか。この校舎のイメージ図は、見るからに昭和の建物のように見えますけれども、これを進めているんでしょうか。その辺りは少なくとも確認をしたいんですけど、いかがでしょうか。 委員、沢山のご意見ありがとうございました。 このイメージ図通りに学校を作るという予定というわけじゃないんですが、とりあえず現状の所に体育館が大きめになるということですので、一般的に学校ではグラウンドは北側よりは南側というのが、今までの学校では作ってきましたので、それをイメージしながら作ったものでございますが、これで決定というわけではないので、あくまでも現行の配置を基準に、現行と同様であればこんな感じになるというようなイメージをさせていただきました。答申をいただいて、教育委員会で統合の決定した後、次年度から校舎の設計に入っていきます。その中で、よりよい形、配置も含め整備計画自体を検討していきたいと考えておりますので、この形で決定しているというわけではございません。今後しっかりと設計業者含めて相談しながら決めていきたいと考えております。 それから、今の減り方はですね、2割ぐらいですけども、今現状、資料の2ページ、平田小学校の未就学児童数の令和6年度を見ていただきますと、最近70名から80名ぐらいの子ども達がおりまして、0歳児

発言者	発 言
委員	としても、資料の作り方を考えていきたいと思います。 この2つの小学校の統合自体は自然なものかなと思いました。元々分離していった経緯があって、地域としても元々一緒のものだったということで、そんなに無理はないかなと考えておりました。ただ、先程の議論にありましたように、一部の児童が途中の3年間かなり遠くなる、500m増えてしまうというお話があり、ご心配の声が挙がっていたわけですが、以前、他の統合の時にも一度検討していただいたかと思いますが、原則は2つの学校での統合と考えながらも、場合によっては校区を出て近隣の学校に通った方が実際には距離的には短いというケースが、かなり市内の端の方ですので、今回可能かどうかともわからないですが、場合によっては希望される保護者の方にとっては、校区の外の近くの学校に通うということも柔軟に認めるということも考えられてはどうかと、まずひとつ思いました。 それと、この次の段階のところで、守山でしたか、統合の時に中学校を含めて考えていく、すぐに中学校も全部一緒にとということではなく、2段階構え的なところで考えるというような他の地区の例もありますので、今回の場合もそれが該当するのかどうか一度検討してみて、中学校も含めてこれからもう少し長いスパンで考えるということも選択肢の一つとしては、あり得るのかなと。ただ、それに適した場所がないということかもしれませんが、減り方が、せっかく新設するのに次の段階を考えないといけないということであれば、少し先のことも踏まえた上で考えるといいのかなと考えます。あと、これはずっと繰り返し申し上げていることですが、少し長いスパンで全般的に考える計画をある程度練って、もちろん教育委員会だけでできることではないのですが、街づくりということでこれから先検討していくということ。今すぐということではなく、名古屋市として考えるっていうことは、やはりこれは避けられないのではないかと思いますので、その点要望したいと思います。
会長	今のは、このケースが特に問題あるということではなくて、今後色々な形の例が出てくる可能性がある中で、これも含めてですけれども、すぐもっと減ってしまうんじゃないかというところで、中学校との連携とか、これまでこの会議でも出てきた例もありますので、単純な問題ではない街づくりという問題とも絡むということで、この事例で今ということではないかもしれませんが、教育委員会、教育環境整備課の方で、もっと大きなビジョンでと言われた場合に、何かお答えいただけることはありますでしょうか。
事務局	もっと長いスパンでということと言いますと、長期推計を作っており

発言者	発 言
会長	ます。それは学校施設のリフレッシュプランというものを持っておりまして、今後どれくらいの学校数が必要になるかというところで、あくまで試算でしかないというところもありますし、具体的な校名を出してどうこうすることも難しいものですから、あくまでボリュームということで検討しております。それにつきましては、国政調査の結果が出た際に見直しをするというということをしておりますので、今年度、長期推計の見直しについても着手をしているところです。それを個別具体的な学区でどうこうすることまでは、中々ブレイクダウンできないものですから、難しいところではあるんですけども、課題としては認識しているところです。 わかりました。 色々今後出てくる問題も含めて、今日は様々ご意見をいただいたところですけども、今回、諮問の浮野小学校と平田小学校の統合に関する個別プランにつきましては、反対の方はいらっしゃらなかった気がしますが、どうでしょうか。
委員	先程お尋ねした中学校とのことは、一度ご検討になったのでしょうか。
事務局	今回の浮野小学校と平田小学校の統合を検討するにあたって、中学校も、ということは中では議論させていただきました。今回は、位置的なところで、平田小の場所で統合しようとする場合には面積が小さい、現状の場所で中学校まで入るとするのは難しいかと。あとは、先程委員から公園のお話もありましたが、先程も申し上げた貯留槽の話があり代替えのものを作るという課題、新川・庄内川の近くにあり防災の面で貯留槽は大事な施設だと思いますので、今回中学校まで入るのは難しいかと考えております。 もう1点委員から、委託通学、学区外へという話がありました。今回は、確かに距離が延びるんですけども、1.7キロというところでございますので、今後、地域、保護者さん、未就学の方へ説明会を行う中でご意見を聞きながら、そういったご意見が多ければ。基本的に事務局といたしましては、距離的なところからは、委託で別の学校へ、学区外へとは今のところ考えておりません。
会長	また、要望等が出てきた場合には検討されるということですね。 この件につきまして、次第の1諮問ということで、今回は皆様からご意見を承ったところで、次回私の方から、答申案を提示させていただく形でよろしいでしょうか。

発言者	発 言
委員	(異議なし)
会長	わかりました。では、そのようにさせていただきたいと思います。 続きまして、次第2の「小規模校の取組状況について」に移らせていただきます。事務局からの報告とのことですが、それではご説明を宜しくお願いいたします。
事務局	(説明)
会長	ありがとうございました。本件は事務局から審議会への報告ということですが、委員の皆様からご意見、ご質問があればお願いします。
委員	私は今、0歳、1歳、2歳の子育て支援拠点という所でスタッフをさせていただいているんですけども、たまたま天白区の拠点に行かせていただいた時に、「上の子どもが今度小学校に入る。たかしま小学校っていうらしい。けどどこに行くのか、私の学区もわからない。」っていう話を伺って、たまたまたかしま小学校ということで、その場でスマートフォンでたかしま小学校のホームページを一緒に見たんですけども、見たところで、今どこで統合されて、子ども達が行っているとかそういう情報には繋ぐことができなくて、保護者の方に説明会を行っているよっていうお話をいただいているんですけど、どんなふうに説明会をされていて、どういう方対象で行っているのかをまず教えていただきたいということと、ホームページについてですが、学校の先生方が更新したりされていると思うんですけど、こういう統合であったり、保護者が気になることであれば、せめて、リンクを張ってほしいなと感じました。インターネットで調べるっていうことがすごく身近になっていますので、若いお母さん方、特に小さいお子さんがいてっていうお母さんにとってはすごく、身近なものですので、見やすく、いまどういう風になっているの、我が子はどのような風なのというのがわかりやすいように、ぜひ人と時間を割いていただけたらなと感じました。
事務局	ホームページ等々ですね、私も見たんですけども、ご指摘の通り中々更新ができていなくて、大変申し訳ないなと思っております。今後、なるべく早くそういった情報等を更新できるように、学校とも連携しながらしていきたいと思います。申し訳ございませんでした。 あとおそらく今言われたのは、委託選択のことかなと思いますけども。
委員	学校を選ぶっていう方もみえて、それも混乱されている方がいらっしやいましたけども。それは言ったつもりはなかったですが。

発言者	発 言
事務局	今私の子ども達に通っている場所も、南陵小学校と桶狭間小学校と選んでくださいといった地域なのですが、私達が子どもを行かせる時にも、いつそれを選択するのか、どこがその選択地域なのっていうのも、ぎりぎり秋以降ぐらいしか伝わってこなくて、不安を感じたっていう経緯もありますし、私はここにいるので名古屋市で調べれば、何かしら繋がっていくっていうものもありますが、庶民的な感覚でパッとインターネットで調べて、わかるような形にどうにかならないのかなということは、普段から感じてはおりますので、何かご意見いただければと思います。 学校が開校する前に、新しい学校づくりということで、それぞれの学区の代表者、PTA の代表者、学校の代表者で新しい学校づくり懇談会を開催しまして、その結果は、おたよりで組回覧をしたりですとか、ホームページにも上げていますので、それを見ていただければ、どんなことかわかるかなと思っているんですけど、今足りないということであれば他にどんな方法ができるか、また考えていきたいなと思っているところでございます。
会長	ホームページは教育委員会の方で担当されているということですか。
事務局	そうですね。我々の方で終わった後に概要をまとめまして、ホームページに上げております。
会長	委員が言われるのは、そこが見つけにくいということですかね。
委員	そうですね。
事務局	補足で発言させていただきますと、委員が言われたご趣旨は、おそらく名古屋市のホームページにわざわざ行かなくても、学校のホームページとか調べやすい形だとよいといったご趣旨だったかなと思います。現在たかしま小のホームページも少し情報が不足している部分もあるかと思っておりますので、今申しましたようにその辺りは努めさせていただきたいと思っておりますし、今後の統合につきましても、今頂いたご意見も参考にさせていただきまして、保護者の方が調べやすい形はどうかという視点で私達も取り組みをさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。
会長	今回も、この資料2を我々も見て、これで良く分かったという所もございまして、一般の方々は中々どういう状況になっているのかとか、個別のケースも見つけにくかったということですが、今後工夫されると

発言者	発 言
委員	いうことでよろしいでしょうか。 はい。他はいかがでしょうか。 特に丸の内小学校の統合については、答申でも、御園小の跡地をどうするのかということを早急に検討することになっていたと思います。丸の内小学校は既に昨年度開校しているので、都心の重要な敷地がどうなっていくのかというのは、この跡地利用のレベルだけではなく、名古屋の都心の魅力化に非常に関係します。その辺りは今どうなっているのか、ご報告いただけますでしょうか。
事務局	現状といたしましては、学校があった跡地につきましては、市全体でどのように活用していくかという検討会を全庁的に作っています。旧御園小につきましても、そちらの方で、今後検討していくということで、事務局が教育委員会ではなく、別の局が担当しておりますので、そちらの方でどのように進めてくか、どういう形で議論していくかも含めて検討されていると聞いておりますので、なるべく早く結論をと我々からも伝えていきたいと考えております。 全庁的なので、当然街づくりという観点も含めたうえで、検討されているのではないかと考えておりますので、今日ご意見をいただきましたということの関係局に伝えていきたいと考えております。
委員	その検討とはどのように行われるのですか。つまり、庁内で行ってるということなのか、それとも、例えばこういう審議会レベルできちんと議論し様々な意見を聞いて案を作っていくのか、どうなのでしょう。名古屋市は、私の理解では、基本的には廃校の跡地利用の全市的な方針はなく、ケースバイケースで対応していると思います。よって、どう検討されるのかが気になります。
事務局	現状は庁内だけで、検討をどのように進めていくのかという所を議論していると聞いております。外部の方を入れての審議会のような場を持って検討はされていないと思います。
事務局	補足ですけれども、現在財政局の資産経営課が中心となって、その土地をどう使うかという庁内会議を開催しているところです。本当に委員が仰る通り、非常に希少性の高い大事な土地ですので、どういう方向性でいくかというところをしっかりと練っている状況です。 今回、御園小学校の土地につきましては、統合がなされてから、検討が始まったということが、1つ大きな反省点としてありまして、当然こういった土地の検討には時間がかかりますので、もっと早く、統合決定がなされた時点から始めなければいけないということも反省点として

発言者	発 言
委員	ありまして、続いている他の統合校に関しましては、統合決定した段階から、どのように活用していくかの検討を始めるということで、検討時期の前倒しをしておりますので、他の学校については、もう少し早めの方針が出てくるようになるのではないかと考えております。 廃校の跡地の利活用の話ってというのは、名古屋市だけではなくて、日本中の自治体が抱えている問題なんですけれども、上手にやってる所は、新しい町の魅力にするような使い方、もしくは新しい開発が行われていて、やはり名古屋市もそれに負けないような計画を立てていただきたいと考えています。そのためには、開かれた議論の場が必要です。それからもうひとつは、この検討には確かに時間がかかるんです。時間がかかるんですけども、その間その校舎や敷地を何もしないでそのままにしておくのか。暫定的な利用をしながら、新しい機運を作るようなことを是非やっていただきたいなと思います。多分、それを今ここで言われてもと思われるかもしれませんが、逆に言うと、それを言う受け皿が今どこにもなく、ここでしか言う機会がないので申し上げます。是非そういう議論の受け皿を作っていただきたいと思います。
会長	教育環境整備課が中心に、学校のことですからね、新しい学校をどうするかと、跡地をどうするかも含めて、リーダーシップをとっていただければというエールだと思ってよろしいでしょうか。お叱りとも言えるかもしれませんが、励ましとも言えるかもしれませんが。 学校でメモリアルとして一部を残したりとか、そういう保存の部分もあったりすると思いますし、地域の人達の思い出もありますので、跡地をどう活用するかは非常に重要な問題だと思いますので、新しい学校を作るから跡地のことは考えていません、ではなく、地域の人達には説明が必要になってくるだろうという趣旨だと受け止めていただければと思います。 よろしいでしょうか。非常に重要なご意見だということで。その他はいかがでしょうか。 ありがとうございました。それでは他にないようですので、次第の中には、3 その他がございます。これはいかがでしょうか。 特にないようですね。以上をもちまして、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会を終了いたします。皆様ありがとうございました。それでは事務局にお返しいたします。
事務局	はい。会長ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、本日はお忙しい中、大変熱心なご審議をいただきまして誠にありがとうございます。次回の審議会では、今回諮問いたしました浮野小学校と平田小学校の統合に関しての答申案をご審議いただくこととなります。引

発言者	発 言
	き続き宜しくお願いいたします。